

教科	技術・家庭(家庭分野)	学年	第1学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ガイダンス	1	・小学校家庭科の学習をふり返るとともに、3学年間の学習内容の見通しをもつ。 ・各内容と家族・家庭の基本的な機能が関連していることに気づく。	・自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。 ・家族・家庭の基本的な機能について理解している。 ・家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。		
自分の成長と家族・家庭生活	2	・自分の成長と家族や地域の人びとのかかわりと自分自身の理解を深める。 ・家庭での活動を考え、家族・家庭の基本的な機能について理解する。 ・自分や家族の生活は家庭内や家庭外の活動が支えていることに気づく。		・家族とのかかわりについて問題を見いだして課題を設定している。	・家族とのかかわりについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・家族とのかかわりについて、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・よりよい家庭生活の実現に向けて、家庭生活について工夫し創造し、実践しようとしている。
目的に応じた衣服の選択	4	・衣服の社会生活上のはたらきがわかる。 ・自分らしい着方を工夫することができる。 ・和服の文化に関心をもち、和服の着方を知る。 ・自分の衣服計画が立てられる。 ・既製服を選ぶポイントがわかる。	・衣服と社会生活との関わりについて理解している。 ・目的に応じた着用について理解している。 ・よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択について、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・個性を生かす着用について理解している。 ・衣服と社会生活との関わりについて理解している。	・衣服の選択について問題を見いだして課題を設定している。 ・衣服の計画的な活用必要性について理解している。	・衣服の選択について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・衣服の選択について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。

令和4年度 評価規準

江戸川区立篠崎中学校

生活を豊かにするものの製作	10	・布を用いて生活を豊かにするものを考える。 ・製作の計画を立て、手縫いやミシン縫いで生活を豊かにするものをつくる。	・製作する物に適した材料や縫い方について理解しているととも、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
日常着の手入れと保管	4	・衣服の状態に応じた手入れの必要性がわかり、適切な手入れができる。 ・取扱い表示の意味を理解し、衣服の素材に適した手入れの方法を選択できる。 ・衣服の素材に合った洗剤を選び、適切な量を使用できる。 ・衣服の傷みの状況に合わせた方法で補修ができる。 ・衣服に合わせた方法でアイロンかけや収納・保管を適切に行うことができる。	・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解している。 ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解している ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているととも、適切にできる ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているととも、適切にできる。	・日常着の手入れについて問題を見いだして課題を設定している。 ・日常着の手入れについて解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・日常着の手入れについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・よりよい生活の実現に向けて、日常着の手入れについて、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
持続可能な衣生活	1	・資源や環境に配慮した衣生活をおくるために工夫できることを考える。		・社会や環境に配慮した衣生活について問題を見いだして課題を設定している。 ・社会や環境に配慮した衣生活について考え、工夫している。	・よりよい衣生活を目指して、衣服の選択や手入れ、製作などについて、工夫し創造し、実践しようとしている。 ・自立した消費者として、社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組み、工夫し創造し、実践しようとしている。

令和4年度 評価規準

江戸川区立篠崎中学校

住まいのはたらきとここちよさ	2	・住まいの基本的な役割について理解する。 ・日本の伝統的な住まいの特徴を知る。 ・住まいの空間の使い方について理解する。 ・さまざまな生活によって、住まい方の工夫があることを理解する。	・住居の基本的な機能について理解している。 ・家族の生活と住空間との関わりが分かりについて理解している。	・住生活について問題を見いだして課題を設定している。 ・家族の安全を考えた住空間の課題について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
安全な住まいで安全な暮らし	3	・家庭内の事故の種類と、その原因を知る。 ・幼児や高齢者の安全を考えた住まい方について工夫する。 ・地域さまざまな災害に備えて、室内を安全に整備する必要とその方法について理解する。	・家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。 ・自然災害への事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	・住生活について問題を見いだして課題を設定している。 ・家族の安全を考えた住空間の課題について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
持続可能な住生活	1	・持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな住まいと住まい方の工夫があることを知る。		・社会や環境に配慮した住生活について問題を見いだして課題を設定している。 ・社会や環境に配慮した住生活について考え、工夫している。	・自立した消費者として、社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組み、工夫し創造し、実践しようとしている。
家庭生活と消費	1	・物資とサービスの特徴がわかる。 ・消費生活のしくみがわかる。 ・収支のバランスをはかり、計画的に金銭管理する必要があることがわかる。	・物資・サービスについて理解している。 ・計画的な金銭管理の必要性について理解している。	・物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定している。 ・物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。	・商品(物資・サービス)の選択と金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

購入・支払いと生活情報	2	・店舗販売と無店舗販売の特徴がわかる。 ・売買契約について問題発生の原因や予防方法を含め、理解する。 ・即時払い、前払い、後払いの特徴を理解し、利点と問題点を理解する。 ・生活情報の収集や活用のしかたを理解し、目的に合った商品を選ぶことができる。	・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ・売買契約の仕組みについて理解している。 ・支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ・物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。	・物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想している。 ・物資・サービスの購入について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。	・計画的な金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
消費者被害と消費者の自立	2	・消費者被害の現状や背景について理解し、予防の方法がわかる。 ・消費者を支えるしくみについて理解できる。 ・消費者の権利と責任について理解し、自立した消費者をめざす。	・消費者被害の背景とその対応について理解している。 ・消費者被害の背景とその対応について理解している。 ・消費者の基本的な権利と責任について理解している。	・自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定している。 ・自立した消費者としての消費行動について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。	・消費者被害の対応について、課題の解決に主体的に取り組む、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・よりよい生活の実現に向けて、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
持続可能な社会	2	・購入を通して消費者の行動が社会や環境に与える影響について理解する。 ・環境に配慮したライフスタイルを選択し、実践できる。 ・持続可能な生活にするために、自分たちができることを考える。	・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。 ・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。 ・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	・自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定している。 ・自立した消費者としての消費行動について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。	・よりよい生活の実現に向けて、社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。